

(別紙)

機能評価結果

長野赤十字病院

貴院は、平成19年1月31日に厚生労働省から地域がん診療連携拠点病院の指定を受け、長野医療圏におけるがん診療の中心的な役割を担っておられます。

今回の現地調査（機能評価）の結果、貴院はがん診療に対して、病院一丸となり積極的に取り組んでおられ、大いに評価するところですが、今後、さらに質の高いがん診療の提供に向け、次の点に取り組んでいただきますよう要望いたします。

① PDCAサイクルの確保について

指定要件で新たに求められた、PDCAサイクルの確保については、貴院においても実施され、前回調査での要望事項についても改善されるなど、成果も見えた。

今後は、それぞれの部門・部署において目に見える形で展開することにより改善を行うよう努められたい。

② 院内クリティカルパスについて

指定要件では、クリティカルパスを整備し、活用状況を把握することが求められているので、クリティカルパスのバリエーションの分析を含め、一層の推進に努められたい。

③ 緩和ケアチームの体制について

がんに関連した認定看護師・専門看護師の育成が行われており、後継者の育成がなされている。

しかし、専従看護師への支援は教育支援にとどまり、横断的役割を踏まえたキャリア形成の院内システムは不明であった。緩和ケアチーム体制に関しては指定要件を満たしているが、看護師1名の体制では院内の全てについて対応することは困難だと思われる。

緩和ケアの質の担保と機能の向上のために、専従看護師のキャリア形成システムの構築と看護師の複数名の配置を考慮されたい。

④ 苦痛のスクリーニングについて

指定要件では、身体的、精神的、社会的苦痛等のスクリーニングを診断時から外来及び病棟で行うよう求められており、貴院においても入院時などの初回に実施されているが、治療の経過の中で発生する苦痛もある。

今後は、定期的なスクリーニングが行えるよう体制の整備に努められたい。

⑤ 放射線治療について

放射線治療では、非常に多くの件数の治療を実施しているが、今後は、治療の質の向上について検討されたい。

⑥ がん相談支援センターへの直通電話

がん患者の利便性を考慮し、直通電話の設置について検討されたい。